

まなびんぐ だより

2024.12.10

しのぶがおかしやがっこう がくしゅうしどうぶ
忍ヶ丘小学校 学習指導部

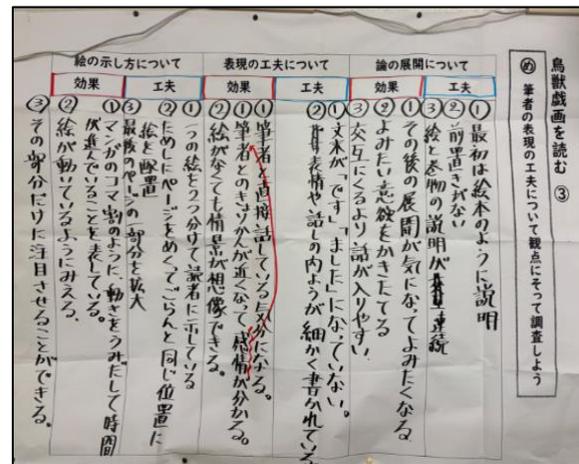
No. 8

ひび たし まな む 日々、「確かな学び」に向かって！！

さて、今回は3年生と6年生の学習の紹介です。6年生では、国語科で『鳥獣戯画』を読む「発見、日本文化のみりよく」という学習をしました。課題設定文は下のようになっています。

日本には、さまざまな文化が現代に引き継がれています。それぞれの文化にはどのようなみりよくがあるのでしょうか。また、それが私たちの今の暮らしにどのように受け継がれているのでしょうか。日本文化に関わる本にたくさんふれ、調べて分かったことを図にまとめていきましょう。読む人を意識し、選んだもののよさが効果的に伝わるように、文の構成・具体例・写真を使い書きましょう。題名を工夫するのもいいですね。忍小のみんなが日本文化の新しいみりよくを発見できるような文章を書いていきましょう。

6年生は「論の展開」「表現の工夫」「絵の示し方」の3つの観点をそれぞれグループで考えました。(右の写真)「論の展開」とはどのような話の順番をしているのか、書きだし方の工夫などに注目して探しました。「表現の工夫」は言葉の書き方、「絵の示し方」は挿絵の工夫というように調べていきました。

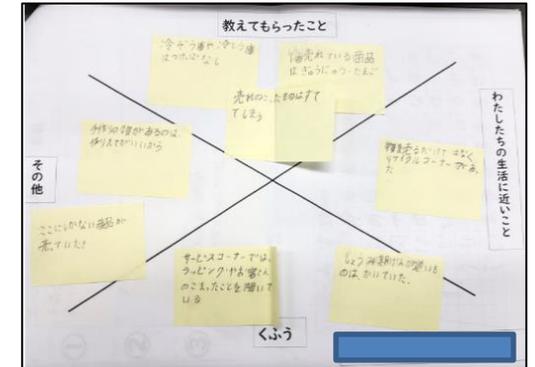


しかけられた工夫には、どのような効果があるのか考えることで、この後の「日本文化の紹介文」に活かしていきました。また、中学校の先生が6年生のワークシートを見て驚いておられました！「こんな高度なことをやってるんですね〜！」とこれまでの分析経験のたまものですね！

3年生では、社会科の「はたらく人とわたしたちの暮らし」と国語科の「仕事のくふう、見つけたよ」を関連付けて学習を進め、新聞づくりをしています。国語科はこの単元は本来1学期で学ぶものですが、社会と一緒に学習を進めるために2学期にずらし調整しています。このように他教科と関連させて学習を進める「カリマネ(カリキュラムマネジメント)」も忍小では意識しています☆

みなさんの校区にはいろいろな仕事をしている人がいます。どのような人がどのような場所でどのような仕事をしているのでしょうか。また、それがわたしたちの生活とどのようにつながっているのでしょうか。しりょうを読んだり、見学やインタビューをして調べて分かったことを書き出していきます。その中から、つたえたい仕事を1つ決めて新聞にまとめていきます。まとめる時には、記事を3つにしばって書きましょう。見出しをくふうするのもいいですね。ひつようにおうじて、絵や図・写真などを使ってもかまいません。最後には自分の考えや感想も書きましょう。忍ヶ丘の町ではたらく人のどりよくやくふうがしっかりつたわるような新聞にしましょう。

上の課題設定文は社会のファイルに印刷されていますが、国語の学習をスタートさせるときにも確認しました。社会で見学に行ったことや、資料を使って学んだことをふせんに書き「X」チャートに分類しました。「教えてもらったこと」「私たちの生活に近いこと」「くふう」「その他」に分け、自分が作りたい新聞に合わせて3つ選択し記事にしました。



どの学年でも、考えを広げたり整理したりする思考ツール(図)を忍小では積極的に使うようにしています！